

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

竹原中心市街地地区

令和6年3月

広島県竹原市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価						フォローアップに よる確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成 度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定 の別		目標達成度	1年以内の 達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	中心市街地の公示地 価	円/m2	51,100	51,100	49,600	確定		△	あり		49,000	R5年1月	△	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	商業施設の閉店の影響は大きい が、都市再生整備計画事業の実施 により、公示地価の減少に歯止め がかかっている。	
指標2	中心市街地の定住人 口	人	6,555	6,227	5,988	確定		△	あり		5,887	R5年10月	△	☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	全市的な人口減少が進行している が、都市再生整備計画事業の実施 により、全市的な割合に比べ抑制 できている。	
指標3						確定			あり			R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる		
指標4						確定			あり			R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる		
指標5						確定			あり			R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度				1年以内の達成見込み	理由	
その他の数値指標1	居住誘導区域の新規住宅着工割合	%	36		41	確定				42	R5年3月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市再生整備計画事業の実施により、中心市街地の利便性が向上し、居住誘導区域内への誘導が進んでいる。
						見込み	●							
その他の数値指標2	居住誘導区域内の定住人口	人	7,816		7452	確定				7,341	R5年3月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市再生整備計画事業の実施により、中心市街地の利便性が向上し、居住誘導区域内への誘導が進んでいる。
						見込み	●							
その他の数値指標3						確定					R 年 月		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	さらなる中心市街地の都市機能の強化	中心市街地の老朽化した公共施設(市民ホール・図書館・児童館など)の再編に向けて、市民意向の把握や複合的な機能を備えた公共施設の整備検討を進めている。	市民意向の把握として、実施しているWS参加者は回を追うごとに増加しており、市民の中心市街地に対する関心が高まっている。	
	中心市街地の防災力の強化	竹原市立地適正化計画の防災指針の策定を進めているとともに、市役所の移転や新たな公共施設の整備に当たり、止水板の設置や災害を見据えた機能配置等を検討することで、中心市街地の防災力の強化に取り組んでいる。	対象地で想定されている計画規模の災害に対する安全性を確保するよう整備計画等が進んでいる。	
	安心して楽しく子育てができる環境の整備	整備した竹原中央緑地広場やあいふる商店街を活用して、子育て世代が楽しめるイベントや取組を実施。	子育て世代から、安心して子供を遊ばせられると多くの意見をいただいた。	
	歴史的景観を活かした魅力発信	景観形成支援事業補助金の情報発信を行っている。 また、市HP等でイベント・観光情報を定期的に配信している。 国土交通省中国地方整備局と共同して歴史まちづくりカードを作成した。	景観形成支援事業により、改修費の一部を補助し、歴史的な景観を保全した。 令和5年12月時点で225枚配布しており、市町連携による観光客の増加が見込まれる。	
	本格運行の開始	デマンド型乗合タクシーを仁賀ルートおよび吉名ルートで本格運行を開始した。	運行開始から利用者数が増加している。今後も、地域にあった公共交通のあり方を検討していく。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	空き店舗対策	空き店舗の活用に向けて、物件情報の提供を継続的に進めた。	空き店舗を活用したカフェが開店し、地域の賑わい創出に繋がった。	
	中心市街地の回遊による賑わいの創出	あいふる商店街等で社会実験やイベントを実施した。	市内外から多くの来場者があり、中心市街地の賑わい創出に寄与した。	
	産業の活性化・賑わいの創出	空き店舗を活用し、まちなかのにぎわいに寄与する小売業・飲食業を行おうとする事業者に助成を行った。	令和5年度は2件支援しており、今後も中心市街地の賑わい創出に取り組む。	
	産業支援の充実	竹原市内に事業所を新設、または増設し、雇用の維持拡大を図る事業者に対する助成制度を拡充した。	令和5年度は該当事業者がいなかったが、引き続き制度を運用し、市内の産業の維持充実を図る。	
	公共交通の利用促進	運行情報・利用案内等を市HPで発信した。	今後も、地域にあった公共交通のあり方を検討していく。	

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項